



いざ、出陣！ 夏季大会選手激励会

西崎中学校
校長 宮城 義隆

五月二十七日(火)、夏季大会に向けての選手激励会を開催しました。まず最初に各部キャプテンから次のような決意表明がありました。「私たち女子バスケット部は与那原と戦います。初戦は必ず勝つて、次の豊見城戦に繋げられるように頑張りましょう。」(瑞慶覧りいせ)「僕たち野球部は豊見城オールスターズと戦います。一生懸命頑張り、僕たちサッカード部は、ストゥで県大会に行けるのを県大会に出場できるような頑張りましょう。」(金城輝澄)「僕たち男子ハンド部は南風原と対戦します。優勝するために、まずは初戦勝てるようにします。」(金城秀雅)「私たち女子ハンド部は豊見城と戦います。数少ないメンバーですが最後まで諦めず頑張りましょう。」(大城さな)「僕たち男子バレー部は、南風原と対戦します。目標は一つでも多く勝つことです。全力でプレーできるように頑張りましょう。」(玉城陽奏)「私たち女子バレー部は、豊見城と戦います。とても強いチームですが相手はコートの上で試合をします。渡久地杏実)「私たち卓球部は大里、長嶺、具志頭と対戦します。一位で通過して、決勝リーグで優勝できるように頑張りましょう。」(上原結南)「私たち美術部は丸と対戦します。」(大城涼葉)「私たち吹奏楽部は七月の大会で、納得できる演奏ができるように頑張りましょう。」(町田愛莉)「私たち柔道部は、初戦の与那原と南風原に勝つて優勝できるように頑張りましょう。」(嘉数さくら)「僕たち男子バド部は、初戦は南風原と対戦します。目標は県大会出場です。僕たちを支援してくれている人たちに感謝します。」(宮崎琥太郎)「私たち女子バド部に頑張りましょう。」(西平友琉)「県大会に行けるように頑張りましょう。」(伊良波、玉城、佐敷と対戦します。今までは練習してきたことを活かして頑張りましょう。」(篠原江奈)



校長の独り言⑨

「一生懸命がかっこいい」は本当か!?

「一生懸命がかっこいい」この言葉を1学年がスローガンに掲げ、生徒、職員が学校生活を送っているが本当だろうか?先日、地区空手道大会を見に行った時のこと。大会独特のピーンと張り詰めた緊張感の中、堂々と自信を持って素晴らしい演武を披露した西中空手部が見事地区優勝に輝いた。日頃の学校生活でそんなそぶりをみせない生徒がこんなにも一生懸命に迫力のあるパフォーマンスをするとは…本当にかっこよく、鳥肌が立つほどの感動を覚えた。他にも、朝練で自分を追い込み、一生懸命に走りこんでいる女子バスケット部の姿。その姿も本当にかっこいい。

「一生懸命がかっこいい」は本当だったのだ。その「一生懸命」をみて周りが感じる感情を私なりに分析してみた。

- ①「シンプルにかっこいい!」
- ②「鳥肌が立つほどの感動!」
- ③「応援したい気持ちが沸き上がる!」

「一生懸命」にならなくてもそこそこ生きていけるこの令和の時代だからこそ、その貴重さ、尊さ、素晴らしさが際立つのではないだろうか。

さあ、いよいよ夏季大会の熱戦の火ぶたが切って落とされる。西崎中の誇りを胸に、怯まず、悔らず、自分を信じ、仲間を信じ、指導者を信じ、やってきたことを信じ、一生懸命にプレーしようではないか!!そんなプレーができれば結果はともあれ悔いの残らない試合になると信じている。

そして、きっとその姿はかっこよく、感動的で、周りの人から熱烈な声援を受けるだろう!



部活動巡り⑧ 男女柔道部の巻



五月十六日(金)、柔道部の部活動巡りを実施しました。部員たちは教室で見せる表情とは一味違う真剣な表情で稽古に励んでいました。主将からは「絶対に優勝する」という、力強い抱負が語られました。柔道部の皆さん頑張りてください!

部活動巡り⑨ 男女ハンド部の巻



五月二十二日(木)、ハンド部の部活動巡りを実施し、選手との交流試合を楽しみました。日頃の活動場所が学校外なので選手の皆さんは先生方の訪問を喜んでいました。ハンド部の皆さん、夏季会は全力を出し切り、頑張りてください!



すべての生徒・職員が安心・充実・挑戦している学校をめざして